

八王子市教育委員会様

都教組八王子支部執行委員会

## 今後の教育活動についての要望書

6月から学校が再開し少人数の分散登校から通常の教室での生活となり、給食や午後の授業、放課後の活動も徐々に始まっています。しかし、都内の感染状況はいまだ安心できる状況ではなく、八王子市内でも新たな感染が発生しています。引き続き、感染防止に努めつつ教育活動をすすめていかなければなりません。

子どもたちは、学校再開を喜びつつも心身ともに疲れています。「自粛生活」での体力の衰え、日々の不安による精神的なストレスの影響は計り知れません。さらに、休校中の学習環境の違いなどによる学力格差の拡大も深刻です。

これからの教育活動で大切なことは、そんな子どもたちの現実に寄り添い、無理なく少しずつ成長できるようにじっくり支援することです。

一方、分散登校によって、学級を2分割しての授業では、ゆったりした空間で子どもたちは落ち着いて過ごすことができました。指導する私たちも、一人ひとりの子どもたちに目がゆきとどき、きめ細かい指導ができました。はからずも、少人数学級の必要性が改めて示されました。何よりも、現在の1クラスの数では、感染防止のために人との距離を保つことができません。

また、私たち教職員も毎日の消毒作業や感染防止にかかわる様々な配慮、手探りでの教育活動で大きな負担を感じています。

以上の実態を踏まえ、下記の項目について要望いたします。

### 記

1. 感染防止のため「20人学級」を実現するよう都へ要望してください。
2. 少人数学級に近づけ、教育活動の充実、職員の負担軽減のため市独自に教職員を増やしてください。
3. 全国学力調査・東京都学力調査の中止を踏まえ、市独自の学力調査も中止してください。
4. 夏季休業の大幅な削減が決まっています。それ以上に7時間授業や頻繁な土曜授業の設定などで児童生徒や教職員に過重な負担がかからないよう配慮することを各校にご指導ください。
5. 授業の進度や授業時数の確保ばかりを追求して児童生徒や教職員が追いつめられることがないように、教科書の内容に軽重をつけられることなどを周知してください。
6. 児童生徒や教職員に感染者が出た場合、全児童生徒・教職員に自己責任ではなく市の体制としてPCR検査を行ってください。
7. 感染の可能性のある教職員が無理をして出勤することがないように、教職員やその家族が感染した場合は有給休暇などではなく、事故欠勤となることを周知してください。
8. 時差勤務や事故欠勤は今後も引き続き適用し、特に妊婦や持病のある教職員が気兼ねなく取得できるよう実態を調査し必要な人員を配置してください。
9. 感染拡大で不安な状況が続いています。せめて、夏季休業中は在宅勤務を認められるようにしてください。